

Mother Tree

～人間性英才の森を育む人たち～

日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

「保護者インタビュー」入学前の国際体験キャンプで得たもの

● 一期・二期アドバンスの課程を経た吉村相生君のお母さんにインタビューしました！

● 入学する前の相生君はどんなお子さんでしたか？

相生君のお母さん・規子さん(以下規子さん) サッカー少年です。

サッカーばかりでいて、一応ベンチ入りまでいって、関東大会はそれで一緒に行ったんだけど、勝ち進んで、全国大会になったときに、入れ替えられちゃって、おいてかれちゃったんですね。それで少し冷めちゃってただけで、それまではずっとサッカー少年。家で勉強は30分としかなかったですね笑。

● そんな相生君がベンジャミン学校に入学して二年過ごされましたが、一年経ったときに変化を感じたことはありましたか？

規子さん まず、入学前の国際体験キャンプで変わりました。別人かと思うくらい変わって帰ってきました。

● 具体的にどんなところが別人に変わりましたか？

規子さん まず「絶対ベンジャミン学校には入らない」と言っていた。相生としてはこのキャンプに行くと、嫌だったならそれで納得してくれということで、嫌だと言え、私もこれ以上ないと思って、うちの夫もうちよつというんなもので、目を向けたらどうだということ、国際体験キャンプをす

めてくれて、それで行って帰ってきたときは「ベンジャミン(学校)入るから！」って言って。サッカーも結局はもうやめると。いい潮時っていうか。やめるってなったのでしょ

● へー！そんな入学する前から変化があったんですね(笑)

規子さん それぐらい彼の人生の中でもすごいインパクトのあることが国際体験キャンプだったんですね。

● 国際体験キャンプで入学を決めて、入って一年間の変化はいかがでしたか？

規子さん 変わったと思うのは、それまで相生は、自分が好きな事、興味のある事には、すごく徹底的にやりつくすんだけど、興味の無いことには、まったく無視という(笑) 興味が無いみたいな感じだったのが、いろんなことに、社会に心開いたって感じでしょう。それが韓国の生徒との交流だったり、あと自分の自転車のプロジェクトを通して、あれでいるんな大人と話すようになったの。旅先でゲストハウスとか泊まったのがきっかけで、いろんな大人と話すようになって、その後も自分で何回も同じゲストハウスに行ったり、伊勢のワークショッブに行くたびにゲストハウス泊まってから行ったりかしてたんですね。

人と出会うことを楽しみに旅するようになって、それが続いて、いろんな人に自ら会って、それで積極的に、自分を広げるためにいろんな人に会いに行ったりとかしています。今までの相生にはないことだったので、自分でもその辺は認めているから。「あなたがそんな風に人となんか枠が広がったのはベンジャミン学校がきっかけなんじゃない？」って聞いたら「そうだね」っていう感じで言うていました。



● 相生君は二年目はアドバンス生として在籍されましたが二年目はどう過ごされましたか？

規子さん 脳教育の授業を受けたこととは役に立っていると思うんですね。あとメンター先生の授業のノートとかはすごく大事にしてたかな。なのでいろんな人に話を聞きたびにノートをとってすごく大切に、自分に役に立つと思ってるみたいで。ときどき見返していま

品川校長先生からのメッセージ

生徒達が、国際キャンプを通して本人も周囲も驚くほどの、大きな成長を見せることは多いです。心と心で交流することの感動が、人間の本質を信じる体験につながります。特にベンジャミン学校の生徒達が国際キャンプで一緒に過ごす時間は、お互いの人間性を高め合う最高の機会になっています。皆さまに、ベンジャミン国際キャンプを体験していただきたいと思います。

今年度最大級の体験キャンプ！

日韓グローバル ベンジャミン 人間性英才キャンプ

2019.2.10(日)～2.11(月・祝)

自分の新しい可能性に気づきたい、自信をもちたい、夢を探したい、まわりの環境に限界を感じる...そんな思いを抱えていたら、ぜひ参加して新しい自分に出会ってみませんか？

* 詳細は、ベンジャミン学校事務局
にお問い合わせください

052-307-1831

